

授業 科目名	【G】	民法(契約) I	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
	【H】	民法(契約) I			【H】2		【H】2	
	【I】	民法(契約) I	その他参照		【I】2		【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	民法の基礎を学ぶ(その3)				担当者	勝田 信篤		
授業概要	【概要】	<p>契約法の前半について、具体的な例をあげて解説する。 講義は板書および口頭での解説による。基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えること。 なお、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。</p>						
	【到達目標】	<p>学習した内容を現実の事案にあてはめて、妥当な解決方法を導けるようになる。これは、評価基準に記載した「応用力」にあたる。 【例】学習した内容が、消費者トラブルの解決に繋がった。 学習した内容が、就職後の業務遂行の助けになった。</p>						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	民法概論、民法(総則) I・IIを履修していることが望ましい。							
教科書	平野裕之『コア・テキスト民法 5 契約法 第2版』新世社、2,750 円、他に適宜プリントを配布する。 既に、使用中の教科書がある場合は、それを使用してもよい。 六法(どの出版社のものでもよい。ただし、令和7年版。授業の際には必ず持参すること)							
参考書	池田 真朗 『スタートライン債権法 第7版』 日本評論社 4535524556 2640円							
評価方法	授業内に行なう理解度確認テストを特に重視する(90%以上)が、出席、授業への参加度等(10%以下)も加えて、総合的に評価する。 なお、出席の悪い者はマイナス評価とする。							
フィードバック 方法	授業内で理解度確認テストを行い、最終週に解答・解説を行う。							
評価基準	S:授業内容を理解しており、秀でた応用力がある、A:授業内容を理解しており、応用力もある、B:授業内容を理解している、 C:最低限の基礎力を備えている、D:基礎力が不足している、E:基礎力が著しく不足している、 F:出席やレポート提出の状況が著しく悪い、試験を受けていない等(評価不能)。							

授 業 科目名	【G】	民法（契約） I	区 分	開講年次	【G】 2	単位数	【G】 2
	【H】	民法（契約） I	その他参照		【H】 2		【H】 2
科目名	【I】	民法（契約） I			【I】 2		【I】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス・契約総論序説						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
2	契約の分類						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
3	契約の成立						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
4	契約の効力						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
5	同時履行の抗弁権						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
6	債務不履行						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
7	危険負担						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
8	第三者のためにする契約						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
9	契約の解除						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
10	解除の要件						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
11	解除の効果						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
12	解除前の第三者、解除後の第三者						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
13	消費者保護						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
14	まとめ						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
15	契約各論序説						
	予習:	教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。		復習:	その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)		
その他	【自宅での学習例】ノートを見ながら、その日の授業内容を再現してみる。疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。						